
低圧持続吸引器 取扱説明書

この度は唾液専用吸引器をご購入いただき、
誠にありがとうございました。

シースター株式会社

〒754-0894 山口県山口市佐山字産業団地南1200番16
Tel:083-976-6570 Fax:083-976-6560

安全にお使いいただくために

ご使用前に、下記の説明文をよく読み、お使いください。誤った使い方は、人・財物の重大な事故につながる危険があります。

※ この商品に保証期間はございません。取扱説明書をよくお読みになった上でご使用ください。

⚠ 危険

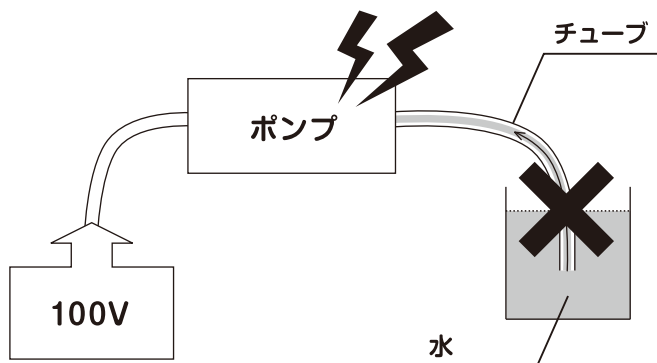
チューブを直接水に突っ込まないこと！

本ポンプは見かけ上観賞魚水槽用ポンプ(吐出型)と同一形状ですが、吸引用に改造しています。

ポンプから出ているチューブはいかなる場合にも、直接水に入れしないでください。

チューブの先端を水槽に入れると、すぐに水を吸い上げ、ポンプ内部に水が入り、故障の原因となります。

設置型(コンセント式)ポンプ内部には、家庭用電源(AC100V)が引き込まれていますので、内部に入った水により、感電・ポンプの発火を起こすことがあります。



<接続についてのご注意>

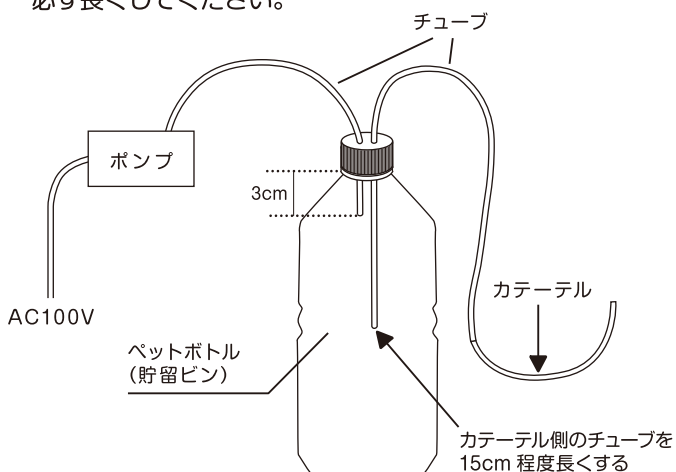
ポンプからのチューブは、必ずペットボトル(貯留ビン)を介してカテーテルにつないでください。

またチューブ先端は、挿入長さを3cm程度として、決して内部の液面に触れないようにしてください。

液面に触れると、ポンプ内に液が吸入され、故障の原因となります。

また、設置型(コンセント式)に関しては感電・ポンプの発火の危険があります。

◎カテーテル側チューブの挿入長さをポンプ側チューブより必ず長くしてください。



⚠ 危険

唾液の吸い上げに注意

- ・ ペットボトル内に貯まった唾液にポンプ側のチューブが届くと、唾液を吸い上げてポンプ内に唾液がたまり、故障の原因となります。また、設置型(コンセント式)に関しては感電・ポンプの発火の危険があります。
- ・ 唾液はこまめに捨ててください。特に夜間にご使用の場合は、ペットボトルの貯留量に気をつけ、十分な容量を確保するようにご注意ください。

⚠ 注意

- ・ 唾液の粘度が高いとご使用いただけません。また、たんの吸引はできません。
- ・ 口腔内専用の吸引器ですので、気管切開箇所からの吸引にはご使用にならないでください。

⚠ 警告

感電事故をさけるためにお守りください

- ・ ペットボトル(貯留ビン)は倒れないように固定してください。
- ・ 屋外では使用しないでください。(設置型 コンセント式のみ) 防水型ポンプではありませんので、雨・雪のかかるところや、風呂場等の湿気の多いところでは使用しないでください。
- ・ 濡れた手で差込プラグの抜き差しをしないでください。(設置型 コンセント式のみ)
- ・ 定期的に、電源コードや差込プラグを点検してください。電源コードや差込プラグが傷んだまま使わないでください。(設置型 コンセント式のみ)
- ・ ポンプに強い衝撃を加えたり、落としたりしないでください。

⚠ 注意

火災事故などを避けるためにお守りください

- ・ 電源は AC100V の専用コンセントを使ってください。テーブルタップをご使用の場合は、万一唾液が漏れた場合でも、唾液がかからないようにしてください。(設置型 コンセント式のみ)
- ・ たこあし配線にはしないでください。(設置型 コンセント式のみ)
- ・ ポンプをカーテンなどの燃えやすいものの近くに設置しないでください。(設置型 コンセント式のみ)
- ・ ポンプが唾液・水を吸い込んだ場合、そのポンプの再使用はしないでください。
- ・ ポンプは唾液吸引用に製作されています。他の液体、特に灯油・ガソリン等の引火性液体の吸引は絶対止めてください。

ご使用前の確認

梱包内容をご確認ください。
(設置型 コンセント式・携帯型 乾電池式 共通)

ポンプ	1個 (携帯型 乾電池式 単一電池2本付き)
吸引カテーテル	1本
吸引器コネクタ	1個 (チューブ長に装着済み)
チューブ 長短2本(キャップ付)	1セット (ペットボトルの蓋に挿入済みのもの)

ご使用方法

1. ペットボトルをご用意ください。
(ペットボトルにキャップのリングが残っている場合は取りはずしてください)
2. ペットボトルのキャップに2本のチューブが挿入してあります。短い方をポンプに、長い方をカテーテルに接続してください。吸引カテーテルとの接続に吸引器コネクタをご使用ください。(本体購入時セットのチューブにはコネクタがついております)
3. ペットボトルにセットして電源を入れてください。
乾電池式は○・-のボタン、設置型はコンセントを入れると作動します。
4. ポンプ前面のダイヤルを回すと吸入量の調節ができます。右回して大きくなります。(設置型 コンセント式のみ)

定 格

< 設置型 (コンセント式) >

最大吸入量	空気：最大毎分 3,000cc 水：650cc (最大吸引圧力：-11kPa)
電気料金(目安)	1ヶ月連続使用で約 90 円
電 源	AC100V
消費電力	4.5W (60Hz) / 3.6W (50Hz)

< 携帯型 (乾電池式) >

最大吸入量	水：最大毎分 530cc (最大吸引圧力：-11kPa)
乾電池寿命	36 時間 (マンガン電池) 60 時間 (アルカリ電池)
モーター寿命	200 時間 (寿命が過ぎた場合、電池を交換しても動きません)
電 源	乾電池 (単一 ×2 本)

● 定格は改良のため、予告なく変更することがあります。

介護の方へのアドバイス

- ① 長時間同じ場所で吸引をしていると、唇があれる事があります。時々、吸引の場所を変えてください。また、唇があれる場合には、リップクリームなどをご使用ください。
- ② ポンプに接続したチューブは温度差などにより、水滴がたまる場合があります。
ポンプ内へ水が入る可能性がありますので、ご利用者さまの頭より少し高めの位置においてください。
- ③ 吸引した唾液があわ状になる場合、ペットボトルを 2 本つなげてご使用ください。(3 ページ目参照)
- ④ 設置型は月に数度裏蓋を開けていただき、中をドライヤーの冷風で乾燥させてください。特に液体などを吸引した際は、乾燥させるようにしてください。モーターの電磁石が錆びつき、吸引力低下、故障の原因になります。

ご使用に際しては、前述の注意を必ずお守りください。

< 困った時は >

Q. ペットボトルがペコペコする。

- ・ 柔らかいペットボトルを使用していませんか？
固めのペットボトルに替えてください。
- ・ ペットボトルのキャップを少し緩め、空気が出るようにしてください。
- ・ 口腔内のチューブが粘膜を吸引し、先端の穴が塞がってしまい、音が鳴る場合があります。口腔内のチューブの位置をずらしてみてください。

Q. 本体から水が出てくる。

- ・ 唾液が本体に入っています。設置型の場合は裏にネジが 4 つありますので、そちらを開けていただき、中を乾いた布、またはドライヤーの冷風で乾かしてください。
- ・ 器械内部に入らないようにするには、ペットボトル内に少量の水を入れておく。また、器械を頭より上の高い位置に置くと改善される場合もあります。

低圧持続吸引器を長くお使いいただく為に・・・

ペットボトル内に貯まった唾液や、チューブ内の水滴がポンプ内部へ吸引されると故障の原因となり長くお使いいただくことができません。以下の工夫で、吸い込みの危険を減らすことができますのでぜひお試しください。

チューブの加工

キャップ付チューブを加工しペットボトルを2個つなげてご使用ください。2個目のボトルが安全瓶代わりとなりオーバーフローの危険が少なくなります。
※詳しくは、中段の「ペットボトルを2個つないで使用する方」をご参照ください。

ペットボトルの大きさ

ペットボトルは大きなものをご使用ください。また、泡立った唾液が吸い込まれるのを防ぐには、少量の水をボトルに入れると粘度が低くなり効果的です。

ペットボトルの種類

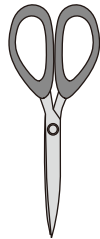
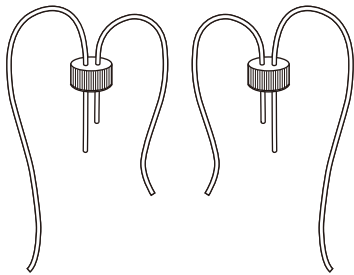
ペットボトルは硬いものをお使いください。やわらかいペットボトルですと、吸引圧力により潰れて変形してしまう場合があります。

ポンプの位置

気温差によりチューブ内で結露することがあります。チューブ内の水滴を吸引してしまわないよう、ポンプ本体は、ご使用者様の頭より高い位置に設置されることをおすすめします。

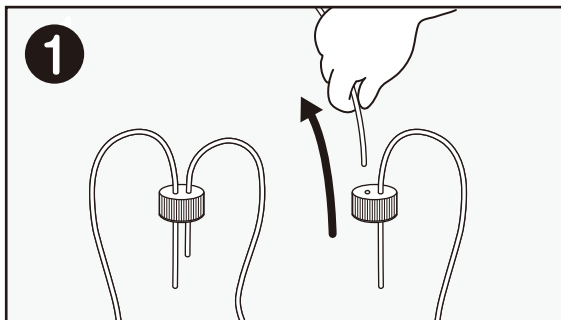
※これらの方法は、低圧持続吸引器のご使用者様からいただいた情報などをもとにご紹介しています。ポンプ内部への吸い込み防止を保証するものではありませんのでご了承ください。

ペットボトルを2個つないで使用する方

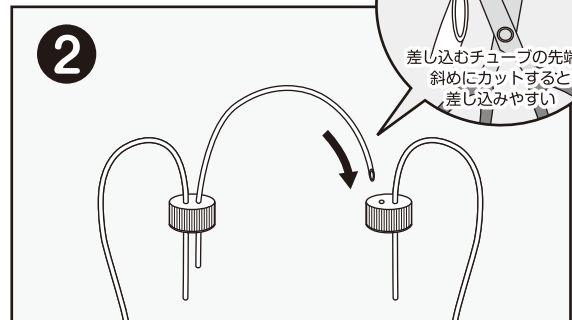


用意するもの

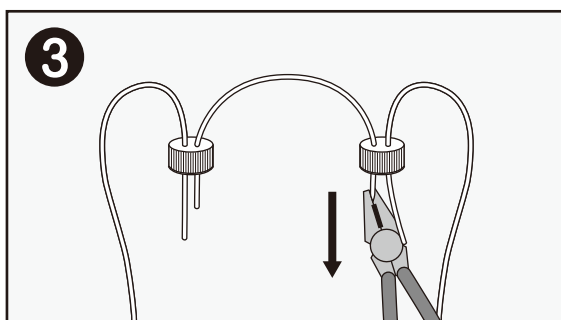
- キャップ付チューブ (長・短2本セット) 2セット
- ペンチ
- はさみ



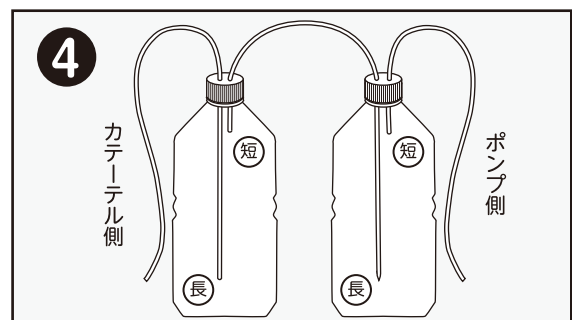
1 片方のキャップ付チューブから、短いほうのチューブを引き抜く



2 もう一方のキャップ付チューブの短い方のチューブを、①でチューブを引き抜いた穴に上から差し込む



3 ペンチを使って、キャップの内側から差し込んだチューブを引っ張る



4 ペットボトルに合わせて長さを調節する
※吸引したものが、常にペットボトルの底に溜まるように長くする